

配付（敬称略）：勝本創生推進委員会委員長、安枝委員会アドバイザー

まちづくり推進課（炭崎、中澤、三宅、景山）、まちづくりアドバイザー（深川、田尾、山本）

環境部会委員（岩倉、久世、高木、高橋、外村、平井、福富、藤原、森田、山内、長澤（コミュニティー部会））

（写し）香水安心・安全子ども育成部会長、村下生活機能向上部会長

環境部会 藤原篤

第46回 環境部会 議事録

日時：12月18日（日）10時～11時45分

場所：竹の里会館 しゃくやく

出席：岩倉、久世、高木、外村、長澤、平井、福富、藤原 計8名

1. 「洛西ニュータウンの樹木みてあるき」について

- ・部会連絡協議会で、自治連への広報の方式がきまった。（自治連については各種広報の参加要請についてチラシ配布等の連絡体制が不十分だった事があるので、1月10日の部会連絡協議会で回覧チラシ原稿をお渡しし、持ち帰っていただき、各自治会への告知・配布をお願いする。）今回、その方式をモデルケースとしてやってみよう。
- ・今回の広報は、多くの参加者を勧誘するのではなく、部会委員、街路樹サポーターなど、関心のある人中心でよい。北部緑事務所への勧誘も、現段階ではあまり強くは進めないこととする。一般市民向けのチラシの配布は、公社にお願いして、各サブセンター会館に置いてもらうこととする。
- ・「洛西ニュータウンの樹木みてあるき」のコースは、前回の環境部会の通り2コースとするが、出発は、支所会議室とし、バスを使うのではなく、周回コースとする。
- ・コーヒーはなるべくお金を使わないことを旨とし、インスタントコーヒーとする。

2. 「緑のガイドライン」について

- ・竹の里公園のメタセコイヤの落ち葉はトイに入って困っているようだ。今後の3、40年先の更新もにらんだ長期的視点に立って、民家周辺にどのような木を植えるのが好ましいのかなどを、「緑のガイドライン」の検討項目に取り入れていこう。
- ・公共のスペースに個人が植栽をしている例が見られる。このテーマも、「緑のガイドライン」の検討項目に入れていこう。
- ・上田先生の講演にもあった、緑のトンネルは、信号などが良く見えるために、切らなければならぬケースもある。こういった事項も、「緑のガイドライン」の検討項目に取り入れていこう。
- ・樹木そのものだけでなく、街灯の高さのあり方なども、課題である。今後LED照明への更新もあると思われるので、検討すべき事項だ。
- ・公園については、小規模-町内、中規模-学区、大規模-NT全体というレベルで考えられるべきである。
- ・検討事項は、いろいろあるけれど、一つ一つ固めていこう。

3. その他

- 地区計画について：進化する景観政策などについて「勉強会」を開催すべき。洛西ニュータウンのゆとりあるまちなみを次世代に継承する・・・とビジョンにはっきり掲げられている。
- 「楽祭 in らくさい」のホームページアップを早くしてほしい。ホームページについては、当初の予定では、11月に委員会への委譲が決まっているが、広報委員会を設立し一本化しなければならない。
- ホームページは、トピックスがどんどん書き加えられるだけでなく、当初から提案していた、環境に関する資料がすぐにみられる「環境資料館」のボタンをつくるべき。次回、具体的に検討しよう。